

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第4回小川町水道審議会
開催日時	令和5年11月22日(水) 午前 10時00分 ~ 10時40分
開催場所	リリックおがわ 会議室5
出席者	【出席委員】(9名)【上下水道課】(5名)
会議の内容	水道料金改定について
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・新料金体系の決定及び答申案について</li> </ul>
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
事務局	上下水道課 水道グループ
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 進行：大嶋主幹</li> <li>2 会長あいさつ 松岡会長</li> <li>3 議事（水道料金改定について）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料内容説明…大嶋主幹</li> <li>・質疑応答・採択…別紙のとおり</li> </ul> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会 石塚副会長</li> </ol>

**【議事】**

水道料金改定について

事務局

- ・水道料金改定について事務局より資料に基づき説明

**【質疑応答】**

松岡会長

事務局から説明のあった水道料金改定及び答申案の内容について何か意見がある方はいるか。

梶ヶ谷委員

現在の小川町水道事業の状況を理解していただくために、現状の状況を数値等でもっと詳しく伝えるべきではないか。また、答申案の中で「老朽化し」とあるが、どれだけ老朽化しているかを記載し、現状の危機的な状況を知ってもらった方がいい。

文章の表現だが、料金回収率の低下というのが、収納率と捉えられるので小川町側の努力が足りないのではないかとと言われてしまうのではないか。また、逆ザヤという表現は商売でよく使う言葉であるため、赤字の方が決算の表現としていいのではないか。以上の内容が答申案で気になった内容であり、もっと厳しい現状をアピールするような内容にしてもいいのではないか。

松岡会長

以上の内容を踏まえて修正する必要があるれば、修正していきたいと思う。住民の方や使用者に分かりやすい内容を説明しなければならない。言葉の表現については修正した方がいいのではと思う。事務局はどう考えているか。

(回答 事務局 田端課長) 今回の答申は小川町長へするものであり、水道事業財政の厳しい状況について数値等を含めて管理者である小川町長は周知の事実であるとする。住民に対する説明には具体的な数値を踏まえ、分かりやすいものにしていき

たい。答申案の内容の料金回収率についてだが、表現が分かりずらく、水道料金の収納率と勘違いされやすい。実際は収納率ではなく、水道事業の収益とそれに伴う掛かった経費の率のことである。答申案には括弧書きで補足説明をしたが、より分かりやすい表現にすることが必要なのかもしれない。

(回答 事務局 梅澤主席主査)

おっしゃるとおり、料金回収率というのは分かりづらい表現であり、収納率と捉えかねないものではあるが、決算に料金回収率という表現は存在しており、それは事業経費の回収率である。その数値が100%を超えていれば、事業経営が良好となるが、令和4年度決算では94%と100%を下回っており、厳しい状況ということが読み取れる。決算の単語として存在しているものであるため、括弧書き内か欄外で分かりやすく補足説明をしたいと考えている。逆ザヤに関しては赤字などの分かりやすい表現に修正させていただきたい。

**石塚委員**

電話料金や電気代では収納率という表現をよく使い、料金の回収率の意味合いではあるが。

(回答 事務局 田端課長) 確かに、料金回収率が94%だと6%の回収できていないと捉えられてしまうが、実際にはそうではなく経費の回収率となっている。

(回答 事務局 梅澤主席主査) 料金の収納率に関しては、最終的な時効である5年を迎えるまでには収納率は99%に近い数値になる。水道料金を滞納してしまうと停水を行うため、収納率は高いものとなっている。

**石塚委員**

電話料金や電気代は1~2回滞納するとすぐ止まるが、水道は生活に欠かせないものであるため、昔は滞納しても猶予があった。

**松岡会長**

いずれにしても水道料金は滞納すると停水してしまうため、収納率は高く、料金回

収率という表現は誤解を招いてしまう表現であるため、補足説明という形で対応する必要がある。

(回答 事務局 田端課長)

こちらに関して誤解を招かないような内容にしていきたいと考えている。

## 松岡会長

先ほど大嶋主幹に見せていただいた現物の給水管を見て、給水能力によって水道料金を設定する口径別に料金体系を変更することについて納得ができてよかった。ちなみに消火栓は本管から直接つないでいるのか。また、水道の本管はどのくらいの大きさなのか。

(回答 事務局 田端課長)

消火栓は本管から直接繋いでいる。また、水道の本管口径はおおよそ 50～250mm 程度となっている。口径は周辺の住宅の数や周囲の状況を考慮して設定している。大きい口径だと、送水管のような扱いで 300 mm のところもある。ちなみに小川町での水道のメーターの最大口径は 100mm である。

## 早川委員

以前電子版の新聞で見た内容で 2050 年には水道管の 6 割が耐用年数を超えてしまうという記事を見た。小川町の場合はどうなるか。

(回答 事務局 梅澤主席主査)

水道管の耐用年数は 40 年であり、小川町の令和 4 年度の決算書を用いて説明すると、令和 4 年度の管路経年化率は 24.5% であり、4 分の 1 が耐用年数が過ぎているという結果になっている。全体の施設はというと有形固定資産減価償却率については 61.2% となっている。有形固定資産減価償却率は 100% に近いほど、老朽化が進んでいることになり、年々増加している。しかし、耐用年数を超えれば、必ず壊れるということではない。また、現在は高密度ポリエチレン管という耐久性の優れた管を布設しているため、老朽化について数値のみで考えるのは難しいものがある。

**松岡会長**

今回の料金改定は配管の更新を踏まえての料金改定になっているという理解でよろしいか。また、配管の繋ぎめの修繕等も考えられるため、そういった維持管理を踏まえているのか。

(回答 事務局 田端課長)

そのとおりである。老朽化の問題については全市町村が抱えている問題であり、それに伴う料金改定は他市町村でも出てくる。

(質問終了)

**松岡会長**

質問がなく、納得していただけるのであれば、次に移りたいと思う。答申案の調整に関しては、皆さまにまたお集まりいただくのもご足労であるため、よろしければ、少し失礼ではあるが、正副会長に一任し、出来上がった書類を確認していただく形をお願いしたい。

(異議なし)

**事務局 大嶋主幹**

本日最後であるため、最終確認をしていきたい。まず、新料金表についてはこれでよろしいか。

(異議なし)

**事務局 大嶋主幹**

次にスケジュールに関しては、お渡しした資料のとおりでよろしいか。

(異議なし)

**事務局 大嶋主幹**

また、審議会委員から丁寧に説明してほしいと意見がありましたので、住民や企業の方へできる範囲で丁寧に説明していきたいと考えている。よろしいか。

(異議なし)

**事務局 大嶋主幹**

答申案に関しては、もう少し小川町の現状の厳しさをアピールしてほしいということで、内容については事務局と会長、副会長に一任という形でよろしいか。料金回収率や逆ザヤ等の表現に関しては修正し、完成したものを審議会委員へ確認していただくという形でお願いしたい。また、てにをはなどの文言の修正、整理は事務局に一任いただきたいが、よろしいか。

(異議なし)

**事務局 大嶋主幹**

答申案に関しては令和5年12月6日に会長、副会長で町長に答申する形で進めたいと考えているので、ご了承していただきたい。

**松岡会長**

それでは採決に移ります。賛成の方は挙手をお願いしたい。

(全員挙手)

**松岡会長**

それでは皆様賛成ということで、町長へ答申していきたいと思う。皆さまのおかげで答申を作成することができ、改めてご協力に感謝を申し上げたい。最後に、水道課の職員に関しては特に大口の使用者や住民に対して、しっかりと説明するという大きな仕事が残っているので、よろしくをお願いしたい。

**事務局 大嶋主幹**

それでは議事はすべて終了した。最後に委員の皆さまからご意見があるか。

(意見なし)